

S.E.N.S 養成カリキュラム シラバス (2018 年度版)

B. アセスメント

◇ 心理検査法 I : WISC-IV (6 時間 : 2 P)

【 概 要 】

LD 等の認知特性を把握するための代表的な基本検査である WISC-IV の理論と解釈について述べる。検査の目的と内容、主要な指標を中心に下位検査が何を測定しようとしているか、検査結果の見方（検査中の行動観察を含む）等について説明する。採点や結果の整理での所見にも触れながら、検査結果の解釈と所見の読み取り方、結果の保護者への伝え方、他の検査結果も踏まえて結果を指導プログラムの作成にどう役立てるか等についての説明を行う。

【 キーワード 】

ウェクスラー式知能検査 (WISC-IV)、CHC 理論、合成得点、全検査 IQ (FSIQ)、言語理解指標 (VCI)、知覚推理指標 (PRI)、ワーキングメモリー指標 (WMI)、処理速度指標 (PSI)、プロセス得点、解釈、所見、個人内差

【 到達目標と評価 】

- ① WISC-IV の内容と特徴を理解し、検査から得られる結果の意義を説明することができる。
- ② 各種合成得点、個人内差などの用語を説明することができる。
- ③ 各合成得点（指標得点）や下位検査がどのような能力を測定しているかについて、基本的な説明をすることができる。
- ④ 検査結果に表れた個人の認知特性を読み取る方法について説明することができる。
- ⑤ 所見の書き方、伝え方、結果を活用する方法について説明することができる。
- ⑥ 検査の限界や他の検査結果や情報との付き合い方について説明することができる。
- ⑦ WISC-IV から WISC-V への移行についても説明することができる。